

経理関連業務の効率化に向けた 金融EDIの活用について



一般社団法人

全国銀行協会

目次

1. 金融EDIの活用効果	P 2
2. 金融EDIの活用に向けて	P13
3. 金融EDIのご利用方法	P18
4. おわりに ～ 全銀協の取組み ～	P27
参考資料	P30

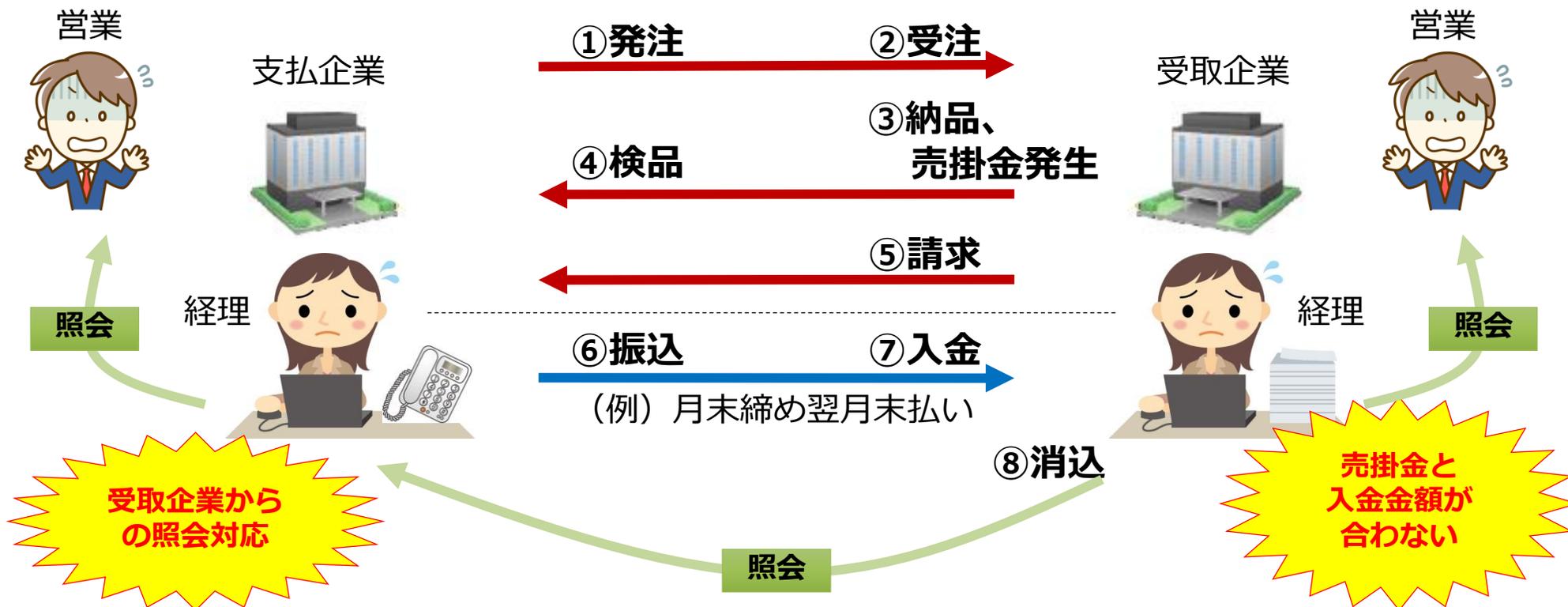
1. 金融EDIの活用効果

1 - 1. 金融EDIの活用効果

金融EDIを活用することにより、
売掛金の消込が効率化!!



1 - 2. 売掛金等の消込（回収確認）の現状



- 企業の多くが複数の商取引の代金を合算して支払い（振込）。
- 受取企業側で認識している回収金額（売掛金）と、実際の入金金額が合わないケースがある。その場合、営業担当や支払企業に照会するなどにより原因を究明する必要がある。

1 - 3. 売掛金と振込入金情報の照合 (現状)

振込入金情報

データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	EDI情報
2	1	290825	1	11	000067427880	マルマルギョウ(カ)	ミカバンク	パ〇キ	
2	2	290825	1	11	000021431950	マルマルグループ(カ)	スイカバンク	アガハ	

1

2

3

照合

売掛金明細

取引先名: 検収日: ~

<< ページ: 1 >> 1~15 / 15件中

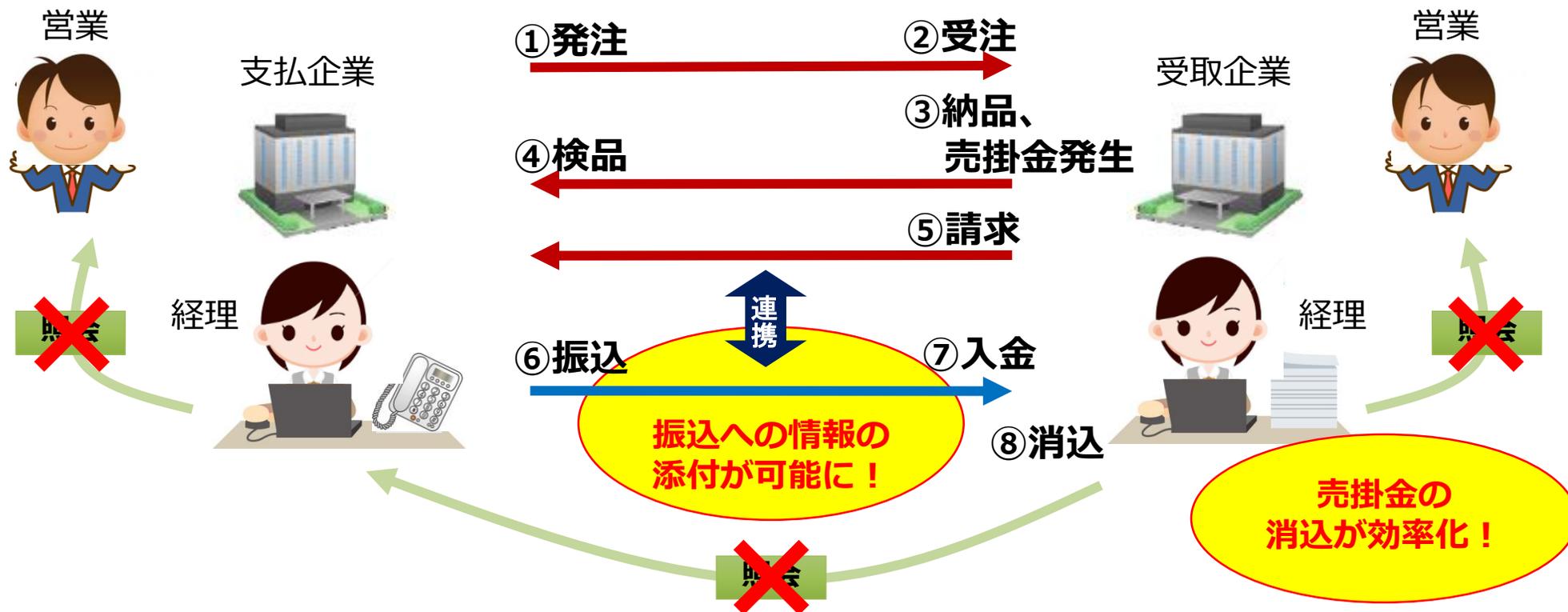
取引先	請求日	入金期日	請求番号	注文番号	品名コード	品目名	単価	数量	金額
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	8	¥3,455,827
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20004	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20005	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	32	¥13,823,309
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20006	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	4	¥1,727,914
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30009	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
〇〇産業株式会社	2017/8/22	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30010	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/22	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30011	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	8	¥3,199,840
〇〇産業株式会社	2017/8/22	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30012	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥456,000
〇〇産業株式会社	2017/8/22	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30013	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/22	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30014	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	32	¥12,959,352
〇〇産業株式会社	2017/8/22	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30015	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480

代行会社からの
支払等で
振込依頼人名が
合わない

勘定日と支払期日の
ズレ等により
ミスマッチが発生

合算支払いのため
合計金額が合わない

1-4. 金融EDIの活用効果



- 振込に添付された情報（金融EDI情報）を活用することで、売掛金の消込が効率化。
- 経理業務の負担軽減のほか、営業担当や支払企業への照会も不要になる。

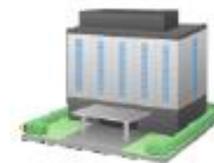
1-5. 金融EDIの活用イメージ

支払企業



発注、受注、納品、検品、請求

受取企業



データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名
2	00000001	170825	1	11	000067427880	三井物産株式会社	三井物産	パキ

従来の振込入金情報

請求番号	注文番号	品名コード	金額
INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	¥162,000
INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	¥3,455,827
INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	¥492,480
INV-17AUG-0001			¥162,000
INV-17AUG-0001			¥13,823,309
INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20000	3000-9900	¥492,480
INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	¥162,000
INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	¥1,727,914

金融EDI情報

➤ 全銀EDIシステムの構築により、膨大な金融EDI情報を搭載した「XML電文」の受渡しが可能に。

※ XMLとは、eXtensible Markup Languageの略称。膨大な情報を搭載する技術。

1-6. 売掛金と振込入金情報の照合 (今後)

データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	請求番号	注文番号	品名コード	金額
2	00000001	170825	1	11	000067427880	マルパバンク(カ)	ミカパノク	パキ	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	¥162,000
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	¥3,455,827
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	¥492,480
									INV-17AUG-0			¥162,000
									INV-17AUG-0			¥13,823,309
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20005	5000-9900	¥492,480
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	¥162,000
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	¥1,727,914

従来の振込入金情報

金融EDI情報

売掛金明細

取引先名: 検収日: ~

照合

取引先	請求日	入金期日	請求番号	注文番号	品名コード	品目名	単価	数量	金額
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	8	¥3,455,827
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20004	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20005	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	32	¥13,823,309
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20006	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	4	¥1,727,914
〇〇産業株式会社	2017/8/1						¥4,560	100	¥492,480
〇〇産業株式会社	2017/8/1						¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1						¥399,980	120	¥51,837,408
〇〇産業株式会社	2017/8/1						¥15,000	2	¥2,276,640
〇〇産業株式会社	2017/8/1						¥15,000	10	¥162,000
〇〇産業株式会社	2017/8/1						¥399,980	30	¥12,959,352
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	ORD-17JUL-50015	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480

請求番号や注文番号などの
入金消込に必要な情報を受取ることにより、
売掛金の明細単位で消込が可能に。

1-7. 全銀EDIシステムを利用した入金消込イメージ

(本資料はイメージです。画面や操作は会計ソフトウェア等により異なります。)

① 取得した入出金取引明細を読み込み

② 自動入金消込を実施

入金管理

F Bデータ取込 : C:¥Users¥…………… 参照 **自動入金消込** ……

<< ページ: 1 >>

取引先	請求日	入金期日	請求番号	単価	数量	売上金額	入金金額	未入金金額	結果
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥399,980	8	¥3,455,827	¥3,455,827	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥4,560	100	¥492,480	¥492,480	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥399,980	32	¥13,823,309	¥13,823,309	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥4,560	100	¥492,480	¥492,480	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥399,980	4	¥1,727,914	¥1,727,914	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	¥4,560	100	¥492,480	¥492,480	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥15,000	10	¥162,000	¥162,000	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥399,980	120	¥51,837,408	¥51,837,408	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥1,054,000	2	¥2,276,640	¥2,276,640	¥0	完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥15,000	10	¥162,000	¥0	¥162,000	未完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥399,980	30	¥12,959,352	¥0	¥12,959,352	未完了
〇〇産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0002	¥4,560	100	¥492,480	¥0	¥492,480	未完了

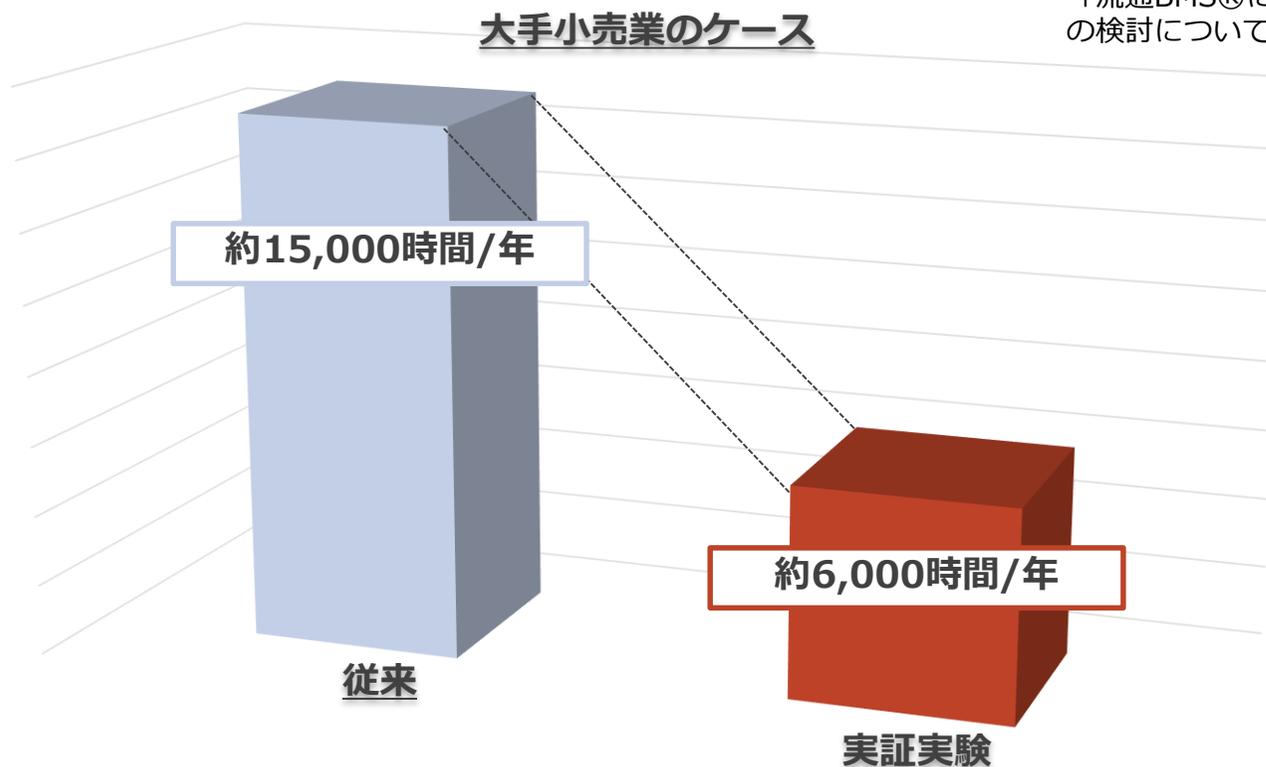
<< ページ: 1 >> 1~15 / 15件中

③ 自動入金消込結果を表示

1-8. (参考) 期待効果

- これまでに、流通業界や自動車部品業界において実証実験が行われており、とある大手小売業のケースでは、売掛金の消込業務が60%程度（年間約9,000時間）削減された。

「流通BMS®による決済情報と商流情報の連携の検討について」【2014 共同実証】



問題

全国の中小企業における売掛金の消込に係る
人件費はどれくらいか？

A. 約100億円／年

B. 約1,000億円／年

C. 1兆円以上／年

(会計ソフトベンダーfreee(株)調べ (2016/5))

2. 金融EDIの活用に向けて

2-1. 金融EDIとは

- EDIとは、Electronic Data Interchangeの略称であり、商取引に関する情報を企業間で電子的に交換する仕組み
- EDIには2種類あり、それぞれの概要は以下のとおり

商流EDI：
(企業-企業) 受発注や請求などの商取引に関する情報を、電子データにより通信ネットワークを用いて企業間で交換・共有する仕組み

金融EDI：
(企業-銀行) 受発注や請求などの商取引に関する情報を振込等に添付し、交換・共有する仕組み

2-2. 官民の連携

2015年12月 金融審議会「決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ報告」

2016年6月 日本再興戦略2016

2017年6月 未来投資戦略2017

2018年6月 未来投資戦略2018

- 金・商流連携等に向けたインフラの整備
 - ・ 本年12月の全銀EDIシステムの稼働、平成32年までの送金電文の全面的XML化を着実に実現するため、全国銀行協会、商工会議所等の金融界・産業界や関係省庁が連携し、周知活動や当該システムの活用事例の共有などの取組を推進する。
 - ・ 企業間の受発注の電子化（商流EDI）の共通化を引き続き推進するとともに、金融界・産業界・関係省庁が連携して、全銀EDIシステムを用いた送金情報と商流EDIの接続に係る実証実験を本年度中に実施するなど、金融EDIと商流EDIの連携を推進する。

2-3. 金融EDI情報として格納すべき情報（経済産業省・中小企業庁）

管理上利用する項目	最低限必要な項目	IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目	利用可能とすべき項目	
業界区分	支払通知番号 ※1	受取人企業法人コード	支払番号	製品名
データ区分	支払通知発行日 ※1	請求先企業名	受取人企業連絡先電話番号	支払内容
	請求書番号 ※2	請求先企業法人コード	支払人企業連絡先電話番号	契約名
	支払人企業法人コード ※3	支払金額(明細)	請求先連絡担当者	締日
		税額	請求先連絡先部門	入金予定日
		税区分	請求先電話番号	納品伝票番号
		税率	行番号	請求書発行日
			発注番号	金額相殺理由コード
			受注番号	相殺金額
			単価	受取人企業名 ※4
			数量	支払人企業名 ※4
			納入番号	支払合計金額 ※4
			納入日時	支払日時 ※4
			製品コード	

※1：支払対象債務・支払日・支払金額・支払方法（振込か電債か）を通知する文書に付すもの。該当する文書が存在しない場合は記載せず、金融機関側で自動付番（振込みの際に使われている既存の受付番号等）を利用。

※2：請求書（ないしそれに類する書類）を発行していない場合は記載不要。

※3：法人マイナンバーを持たない事業者（個人事業主等）については記載不要。

※4：XML電文移行対象取引（予定）に、既に代替可能と思われる項目が存在するため、EDI情報欄への記載不要との整理が可能と考えられる項目。

【出典】 中小企業庁研究会 金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議「金融EDI情報として格納すべき商流情報の整理について」（2016/12/22）

2-4. 金融EDIの活用効果まとめ

支払企業側

受取企業側

受取企業からの照会対応負担の軽減

売掛金の消込が効率化

金融EDIの
活用効果

経理関連業務に充てていた人的リソースを、
営業活動などの他業務へシフトすることなどが可能に

➤ 経理関連業務の効率化をはじめ、企業の生産性向上や、働き手不足の解消が期待

3. 金融EDIのご利用方法

3-1. 対象となるサービスおよびチャネル

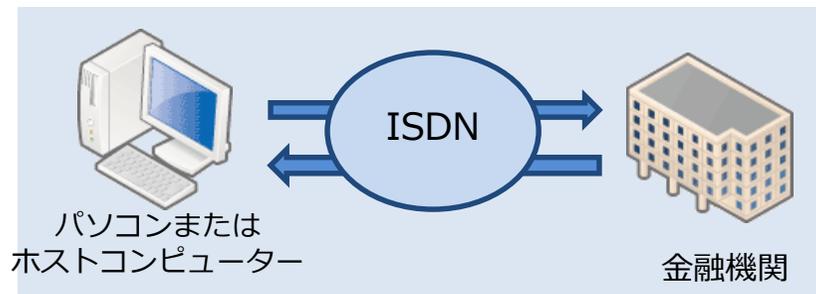
区分	サービス	チャネル
支払企業	総合振込※	一括ファイル伝送 (FB) インターネットバンキング (IB)
受取企業	振込入金通知 入出金取引明細	

※ 給与振込・賞与振込等は対象外（従来どおり）

一括ファイル伝送 (FB)

概要

企業のホストやパソコンと銀行システムをISDN（電話回線）で接続し、総合振込（複数件の振込依頼）や残高照会、入出金明細照会等を行うサービス。



インターネットバンキング (IB)

概要

企業のパソコンと銀行システムをインターネット回線で接続し、総合振込（複数件の振込依頼）や残高照会、入出金明細照会等を行うサービス。



3-2. 対象となる金融機関

2018年8月末時点の情報

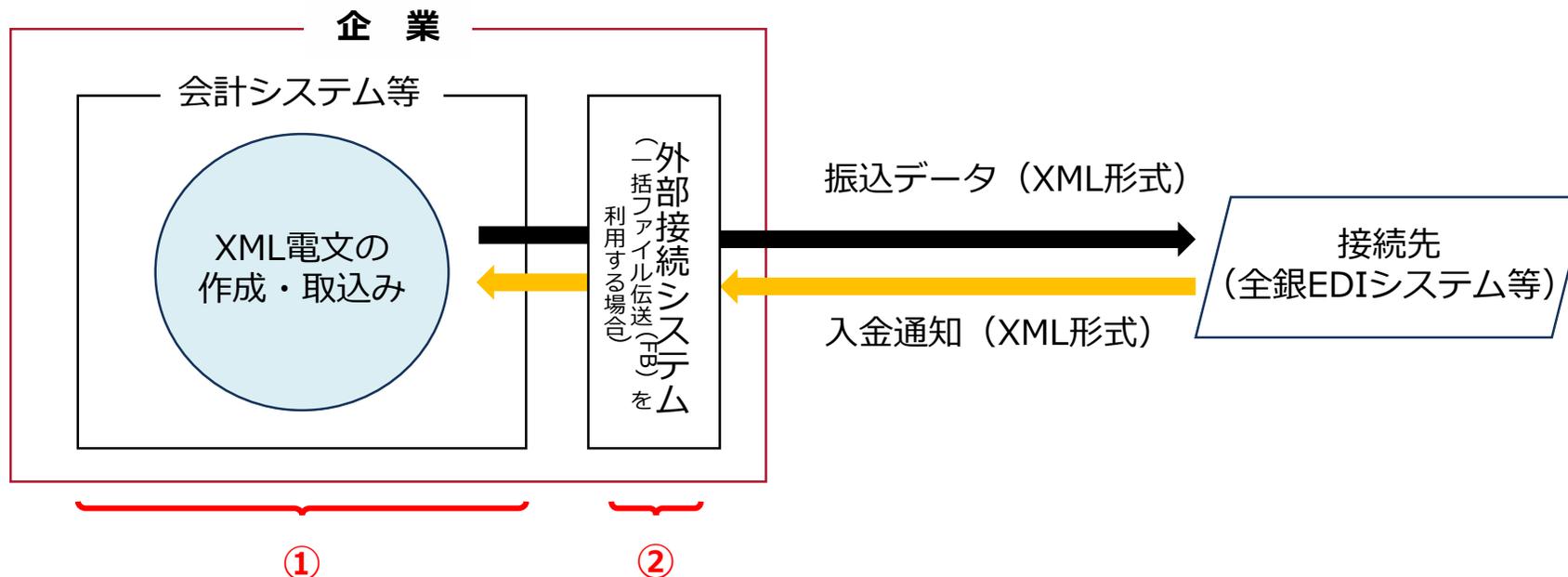
	稼働当初接続		インターネット バンキング	稼働後接続	合計
		ファーム バンキング			
都市銀行	5	5	4	—	5
地方銀行	58	42	51	6	64
第二地銀協加盟銀行	25	24	25	14	39
信用金庫 (信金中央金庫を含む)	188	68	187	71	259
その他	3	3	2	20	23
合計	279	142	269	111	390

➤ 金融EDIのご利用可否や対象となるチャネルについては、お取引の金融機関にお問合せください。

3-3. 金融EDIのご利用にあたって必要な対応

➤ 金融EDIの利用にあたっては、企業において主に以下の対応が必要となる。

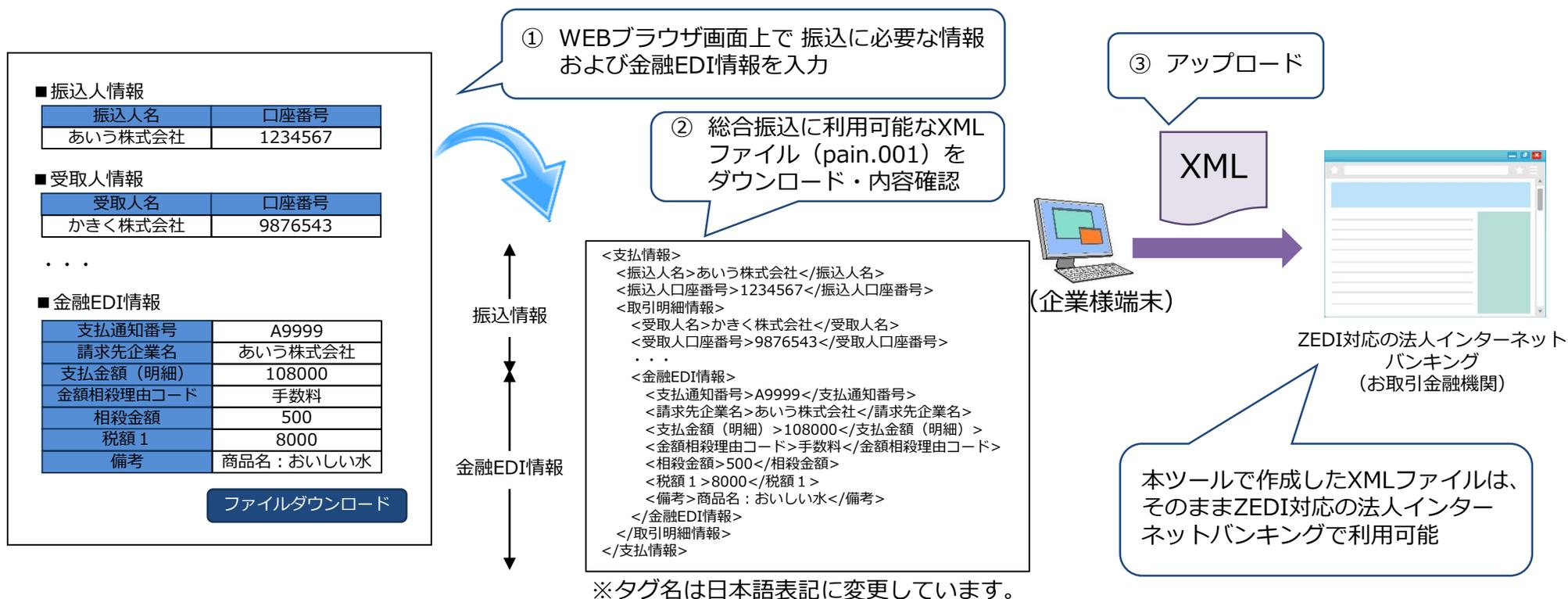
- ① XML電文を作成・取込むための、会計システムのソフトウェアのバージョンアップや入替え
- ② 一括ファイル伝送（FB）を利用する場合、XML電文を送受信するための回線準備、通信ソフトウェアの設定変更、入替え（含む接続テスト）など



3-4. 簡易にXML電文を作成できるツール

- ZEDIでは、簡易にXML電文を作成できるツールとして、WEBブラウザ画面上で情報を入力する「S-ZEDI」(Simple-ZEDI)を無料で提供予定。

ZEDI・・・全銀EDIシステムの愛称



■ 振込人情報

振込人名	口座番号
あいう株式会社	1234567

■ 受取人情報

受取人名	口座番号
かきく株式会社	9876543

■ 金融EDI情報

支払通知番号	A9999
請求先企業名	あいう株式会社
支払金額 (明細)	108000
金額相殺理由コード	手数料
相殺金額	500
税額 1	8000
備考	商品名: おいしい水

ファイルダウンロード

```

<支払情報>
<振込人名>あいう株式会社</振込人名>
<振込人口座番号>1234567</振込人口座番号>
<取引明細情報>
<受取人名>かきく株式会社</受取人名>
<受取人口座番号>9876543</受取人口座番号>
...
<金融EDI情報>
<支払通知番号>A9999</支払通知番号>
<請求先企業名>あいう株式会社</請求先企業名>
<支払金額 (明細)>108000</支払金額 (明細)>
<金額相殺理由コード>手数料</金額相殺理由コード>
<相殺金額>500</相殺金額>
<税額 1>8000</税額 1>
<備考>商品名: おいしい水</備考>
</金融EDI情報>
</取引明細情報>
</支払情報>
    
```

3-5. 金融EDI利活用に向けた対応

現状

店頭、ATMで振込



経理業務のIT化

→ ZEDIに対応したFB、IBの導入【金融EDIの導入】

FB、IB(固定長)を利用



消込処理の合理化、効率化

→ ZEDIに対応したFB、IBへの移行【商流EDIと金融EDIの連携】

消込処理の実施



さらなる業務の高度化 (3-6.参照)

→ ZEDIに対応したFB、IBへの移行とシステム開発

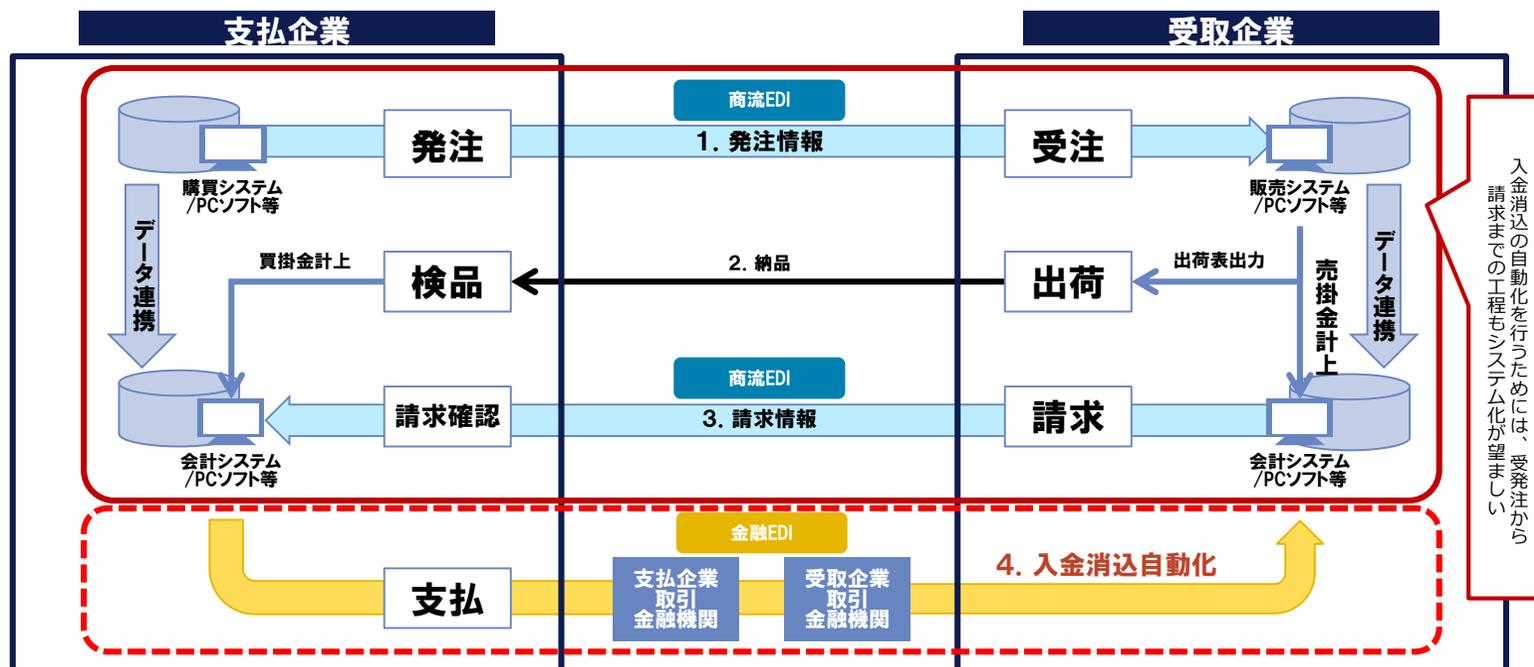
【商流EDIと金融EDIのシームレスな処理】

3-6. 金融EDIの活用において望ましい対応

➤ 金融EDI情報を利用して経理関連業務の効率化を図る場合、以下の対応を行うことが望ましい。

- ① 金融EDIのもととなる商流情報（商流EDI）の活用
- ② 会計システムとの連携による売掛金自動消込機能の実装

イメージ



3-7. 支払企業と受取企業の対応

支払企業



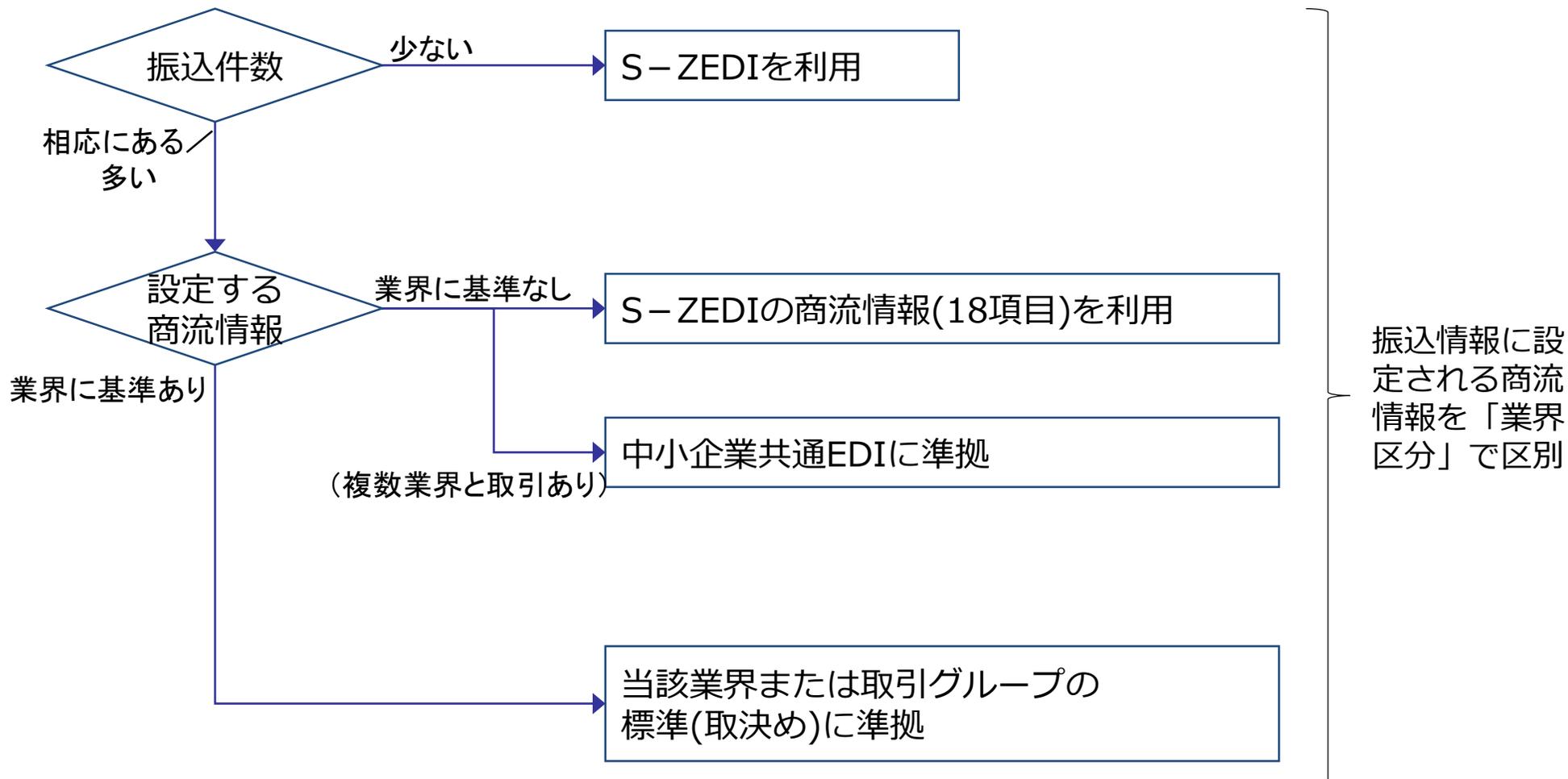
XML形式の総合振込電文の作成

受取企業



XML形式の振込入金通知等から
売掛金の消込処理を自動化する
会計等ソフトウェアの導入

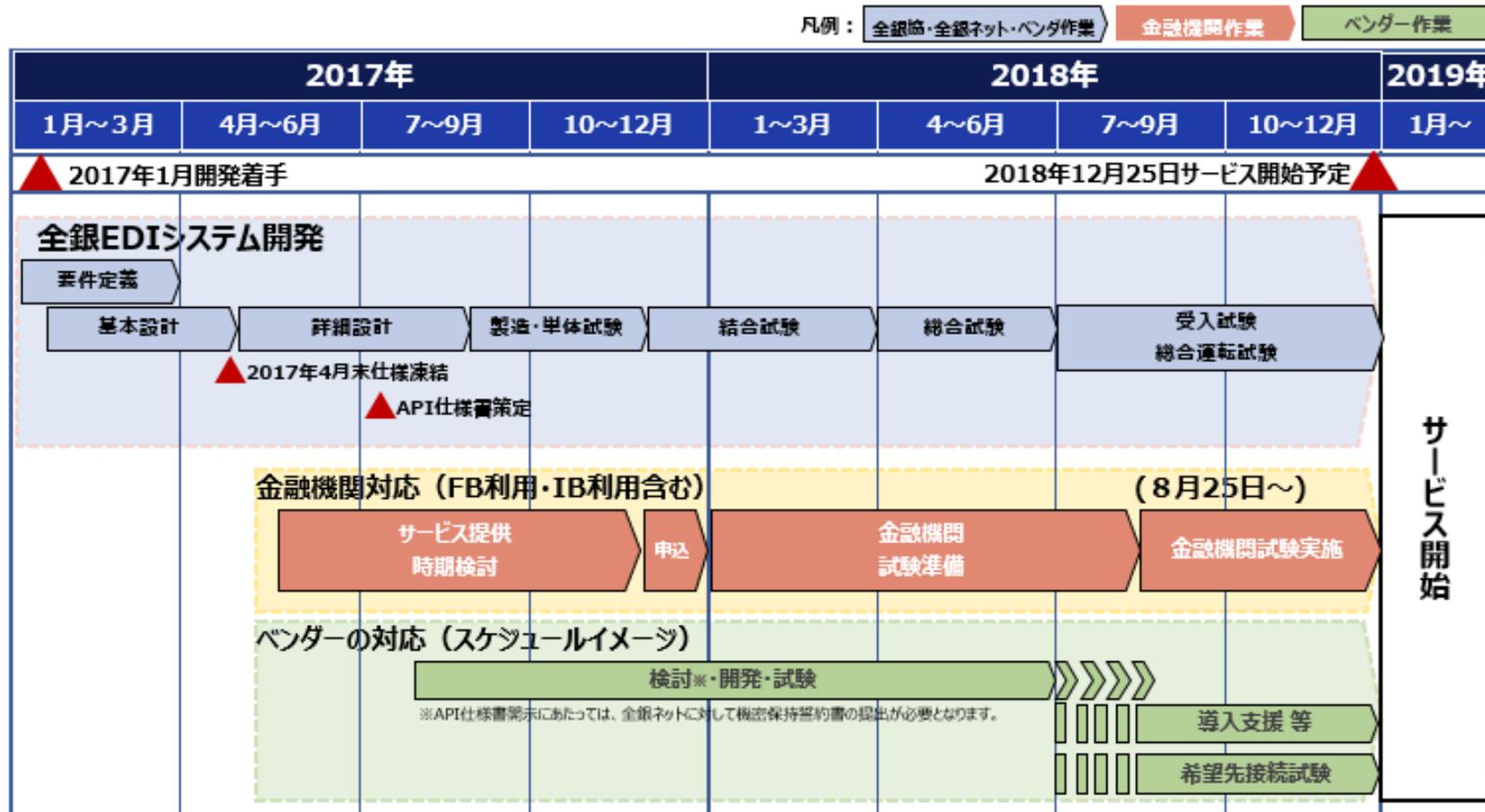
3-8. XML形式の総合振込電文の作成



4. おわりに ～全銀協の取組み～

4-1. 全銀EDIシステムの構築

2017年1月から開発に着手。**2018年12月25日（火）稼動予定。**



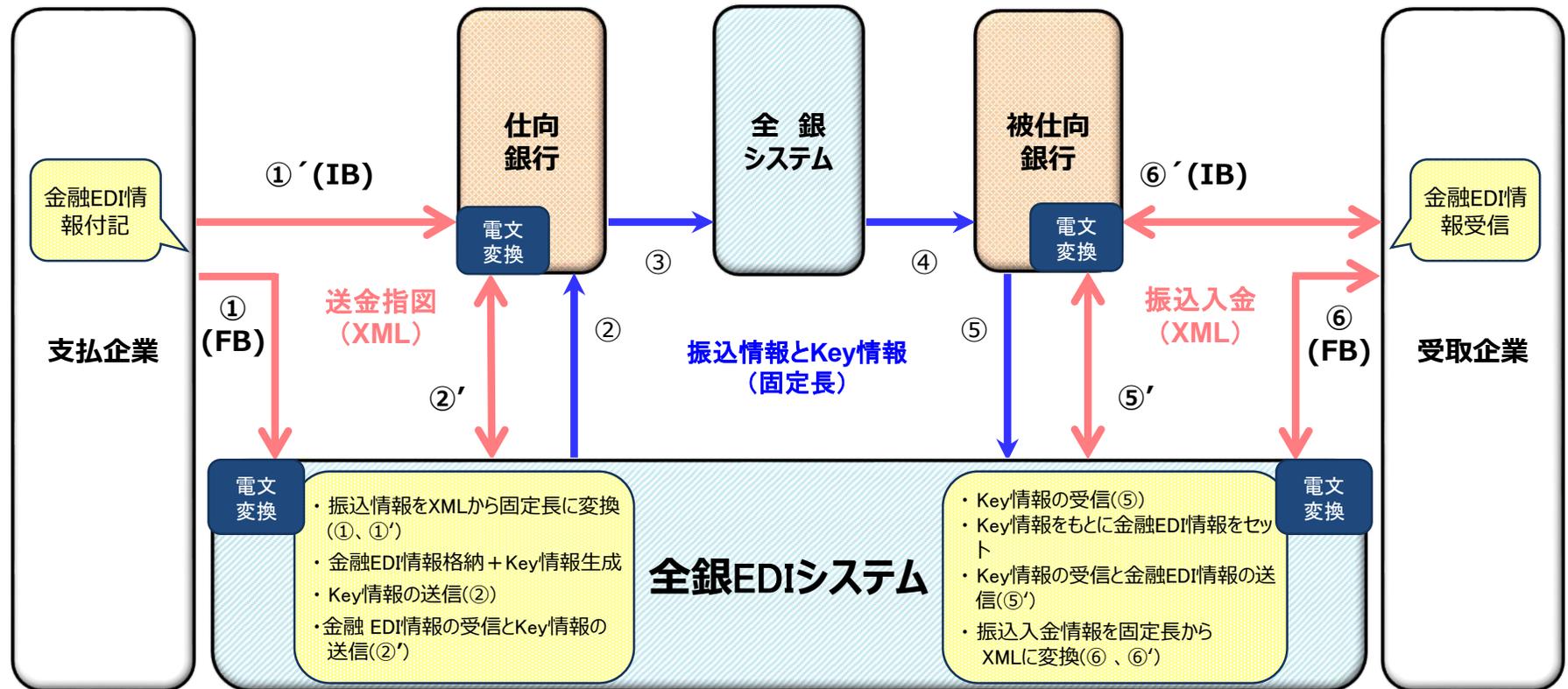
4-2. 周知・広報活動

実施時期	実施事項
2017年 7月	金融機関およびクラウドサービス事業者、ソフトウェアベンダ等向けAPI仕様書説明会を開催
9月	日本商工会議所中小企業委員会において説明
10月、11月	企業向け説明会を開催（10/24 東京会場、11/6 大阪会場）
12月	「FinTech×金融EDI」がテーマのビジネスコンテストを開催（NTTデータ主催。全銀協は開催協力）
12月	仙台商工会議所、福岡商工会議所において説明
2018年 1月	名古屋商工会議所において説明
	全銀EDIシステムを利用した金融EDIの周知チラシの策定・公開
5月以降	各地商工会議所の議員総会等の場で説明
6月	S-ZEDIの周知チラシの策定・公開
9月	「ZEDI、金融EDI利活用に関する広報推進強化月間」（9/1～9/30）を設定し、以下の活動を展開 ・ 企業向け説明会の開催（全47都道府県。9/11～11/22） ・ 周知ツール（リーフレット、動画）を活用した周知の実施

- 全銀協では2017年度以降、周知ツールの作成や、関係省庁とも連携した各地での説明会の開催など、周知・広報に努めている。
- 経理関連業務の効率化をはじめ、企業の生産性向上や働き手不足解消に向け、まずは金融EDIを知っていただくことが重要と認識。
- そのうえで、金融EDIをご利用いただき、効果を実感いただくことで、将来的には全ての企業間の送金指図において、金融EDIが活用される社会を目指したい。

參考資料

(参考) 全銀EDIシステムの概要



- ・①'⑥'は、インターネットバンキングの場合。個別金融機関が自行システム等を改修し、企業から直接XML電文を受け付ける。インターネットバンキングのファイルアップロード、ダウンロードについては①'⑥'を採用。
- ・全銀EDIシステムはプラットフォームであるため、FBサービスの申込対応等は、各金融機関で実施。

(参考) 電子領収書としての活用 (1/2)

データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	請求番号	注文番号	品名コード	金額
2	00000001	170825	1	11	000067427880	マルマルバンクヨウカ	ミカバンク	パキ	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	¥162,000
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	¥3,455,827
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	¥492,480
									INV-17AUG-0			¥162,000
									INV-17AUG-0			¥13,823,309
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20000	5000-9900	¥492,480
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	¥162,000
									INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	¥1,727,914

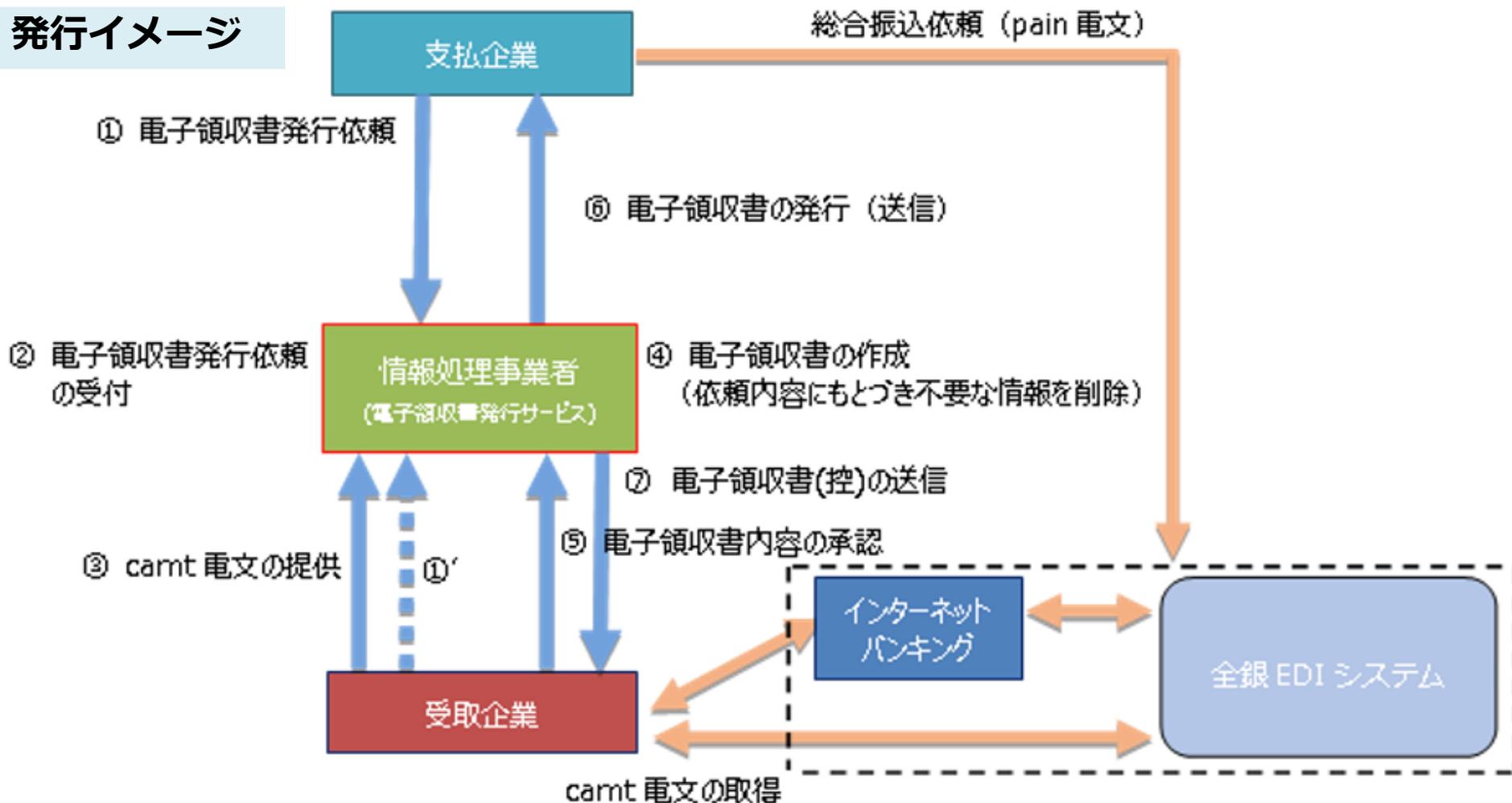
従来の振込入金情報

金融EDI情報

- 従来の振込入金情報（取引日時、金額、口座名、振込依頼人名）に加え、金融EDI情報として取引内容（支払通知番号、請求書番号等）の情報を活用することで、「電子領収書」を発行することが可能。
- これにより、支払企業側では①領収書の保管コストの削減、②領収書の管理負担の軽減、受取企業側では①領収書作成・郵送コストの削減、②印紙税が不要になるなどのメリットがある。
- 全銀協は、2018年5月、「情報処理事業者がXML電文の振込入金通知等を利用して電子領収書の発行業務を行うにあたっての手引き」を策定。
- 今後、本手引きを参考に、電子領収書発行サービスを提供する情報処理事業者が現れることに期待。

(参考) 電子領収書としての活用 (2/2)

発行イメージ



(参考) その他の活用 ～金融機関による新たなサービスの提供～

想定事例 ①

商取引実態の把握
による経営サポートや
各種提案

想定事例 ②

商取引に係る情報の
集計・統計による、
マクロなビジネスの
将来予測や業界動向の
分析

想定事例 ③

商取引に係る情報に
もとづく融資
(トランザクション・
レンディング)

- 金融EDI情報を活用することにより、売掛金の消込の効率化や電子領収書その他、金融機関等による新たなサービスの提供が期待される。

(活用にあたっては情報主体から同意を得る必要があるケースあり。)

(参考) 中小企業共通EDI

導入前

現在、商取引において発生する注文書、納品書、請求書等を、取引先企業毎のフォーマットに合わせて作成・送付している。

膨大な受発注作業が発生

フォーマットに合わせた受発注作業
A社に合わせた受発注作業
B社に合わせた受発注作業
C社に合わせた受発注作業

電話対応 FAX対応
フォーマットが決まらないうちの受発注作業

ED Iパスワードの管理
フォーマットに合わせた受発注作業
郵送など

A社フォーマット A社
B社フォーマット B社
C社フォーマット C社
電話 or FAX

どれもどれだかわからなくなるよ!

導入後

中小企業共通 EDI

入力したデータがリアルタイムで自動的に相手先へ登録

ご注意!
取引先が中小企業共通EDIを導入していない場合、統一フォーマットでの受発注や、入力データを相手先に自動登録することは出来ません。

統一フォーマット
見積書・注文書・納品書・請求書等のデータ
見積書・注文書・納品書・請求書等のデータ
見積書・注文書・納品書・請求書等のデータ

統一フォーマット A社
統一フォーマット B社
統一フォーマット C社

業務に関係なく同じフォーマットだから
入力が簡単!
受発注状況も一目でわかる!

大きなメリット1

受発注業務が膨大

入力方法が全部違う!

企業ごとに異なるフォーマットの注文書や納品書の作成に手間がかかるだけでなく、郵送の手間や代金などの負担が常発生します。

大きなメリット2

人的ミスが多くなる

聞き取りミスや、FAXをパソコンへ入力する際のミス、計算ミスなど、取引件数が増えるほどミスが多くなります。

大きなメリット3

書類の管理が大変

書類を探すのが手間に上、保管するスペースも必要です。紙での保管は書類紛失の危険にもさらされます。

大きなメリット1

効率UPでコスト削減

効率 ↑
コスト ↓

大きなメリット2

人的ミスを軽減

自動登録

大きなメリット3

取引の検索が簡単

あつた!

統一されたフォーマットのため、入力が簡単です。注文書や請求書などをデータ化してやりとりするため、紙の書類作成・送付・受注など一連の作業にかかる手間を大幅に軽減できます。

中小企業共通EDIを利用すると、発注側が入力したデータは相手先のPCへ自動的に登録されます。登録されたデータは、納品書や請求書等の作成に活用可能なため、書類作成毎のミスを軽減することができます。

書類をデータ化して保存しているため、過去現在の取引データを簡単に検索することが出来ます。(プロバイダなどの仕様によりデータの保存期間が異なります)

なるほど、これは楽ですね

中小企業庁WEBサイトより (<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/gijut/>)



一般社団法人

全国銀行協会

【本件照会先】

事務・決済システム部

TEL : 03-6262-6672

メール : jimuzenginkyo@zenginkyo.or.jp